

(一社) 奈良県作業療法士会キャリアラダー (臨床実践力)

Level	I	II	III	IV	V	
新入職員レベル	新入職員レベル	一般職員レベル	所属チーム リーダーレベル	多職種チーム 部門長レベル	他家種・社会貢献レベル	
参考経験年数	1から2年目	2から5年目	5から8年目	8から10年目	10年目以上	
到達目標	指導の下に臨床実践ができる	自立して臨床実践ができる	後輩スタッフのモデルとなり、臨床実践の指導ができる	多職種チームのマネジメントができる 分野を限定しない広範囲な知識・技術・経験を有している	特定の分野において知識・技術。経験を有しており、地域にその能力を活用できる	
臨床実践能力	情報収集	対象者(児)の社会背景、ニーズ、治療方針等を理解することができる	予後予測に必要な情報を集めることができる	問題点や方針について把握し、理解することができる	多職種と適宜連携し、お互いの役割や進捗状況を把握することができる	地域の課題や資源を適宜把握し、理解することができる
	評価	指導のもと、適切な検査項目を実施できる	単独で適切な検査項目を選択し、実施できる	適切な検査項目や評価技術を後輩に指導できる	環境面も含めた多角的な評価ができる	地域特性における課題をとらえることができる
	目標設定	指導された内容を理解し、期間が明確で実現可能な目標を設定し、説明できる	実現可能な個別性のある目標を設定し、説明できる	根拠に基づいた実現可能な目標設定が行え、後輩に助言できる	多職種の方針を含めた総合的な目標設定の支援ができる	地域の場(地域ケア会議等)に向いて目標設定の支援ができる
	プログラム立案	指導の下、訓練プログラムの目的・今後の展開を説明できる	単独で適宜訓練の方法や修正・追加ができる	効果判定を踏まえ、訓練方法、目標の修正・追加ができ、後輩にも助言できる	多職種の方針を含めた多種多様な総合的なプログラムの提案ができる	地域の場(地域ケア会議等)に向いて具体的な解決策を提案できる
	訓練・リスク管理	マニュアルやリハビリテーション中止基準を理解しながら訓練できる	情報収集で得た情報や評価をもとに単独で安全性および妥当性のある訓練ができる	ハイリスク対象者(児)の対応ができ、安全性および妥当性のある訓練を後輩に指導できる	費用対効果を意識して訓練ができる	地域の場(介護予防教室等)に向いて、指導ができる
		指導の下、自分の行った訓練を振り返り、効果判定できる	治療目標に整合した適切な内容・時間の訓練ができる			
記録・説明	指導の下、担当者同士書類をもとに対象者にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	単独で対象者や家族にリハビリテーション内容や必要性を説明できる	アウトカムを数値化して、記録や報告ができる	多職種・対象者・家族からの質問に対して、適切にこたえることができる	地域の場での確に説明できる	

(一社) 奈良県作業療法士会キャリアラダー (県士会活動)

Level	I		II		III		IV		V		
	新入職員レベル		一般職員レベル		所属チームリーダーレベル		多職種チーム部門長レベル		他業種・社会貢献レベル		
参考経年数	1から2年目		2から5年目		5から8年目		8から10年目		10年目以上		
到達目標	県士会員として責任のある行動をとることができる		県士会内の部局員と協業して、課題を解決することができる		県士会内の部局のリーダーとして、課題解決のための指示を出すことができる		多職種との良好な関係を構築することができる。他部局との調整をすることができる		県士会発展のために寄与し、社会貢献ができる。		
人間性・社会性	態度	行動	社会人としての適切な行動をとることができる		タイムマネジメントができ、計画的に業務を遂行することができる		他の作業療法士の見本となるよう態度に対して助言や指導をすることができる		*態度面はLevelⅠ～Ⅲで獲得されることが望ましい		
		報告	報告・連絡・相談ができる								
	コミュニケーション	伝える	自分の意思や考え方を伝えることができる		簡潔にわかりやすい説明ができる		チーム全体にわかりやすい説明をすることができる		多職種にわかりやすい説明をすることができる		地域の専門職や住民と意見交換ができる
		尊重	他者の意見を聞き、コミュニケーションが適切にとることができる		他者の意見を尊重できる		多職種全体をまとめ、少数意見を尊重し、コミュニケーションをとることができる		チーム全体をまとめ、少数意見を尊重し、コミュニケーションをとることができる		
		把握	相手の表情や心情をくみ取ることができる		他者の状況把握から困っていることに支援ができる		多職種の状況把握から困っていることに支援ができる		部局の状況把握から困っていることに支援ができる		
	県士会員として	責任	県士会員として責任のある行動がとれ、規律を守ることができる		県士会の予算を意識した行動がとれ、与えられたタスクを責任をもって遂行することができる		改善点について積極的に提案できる		改善点について他部局と連携しながら、変革することができる		県士会を代表して社会貢献ができる。
		意欲	担当部局との連携・協調することができる				後輩の意欲を引き出し、資質を向上させる		多職種と協業しながらチームの資質や意欲を向上させる		
		組織	指導の下、県士会の組織の理解ができる		組織の仕組みを他者に説明できる		組織について改革案を提示できる		組織について、後輩に教育できる		
		参加	県士会活動に参加することができる				県士会内の運営にかかわることができる		県士会を代表して他団体と調整し、一定の役割を担う		

(一社) 奈良県作業療法士会キャリアラダー (教育)

Level	I	II	III	IV	V		
	新入職員レベル	一般職員レベル	所属チーム リーダーレベル	多職種チーム 部門長レベル	他業種・社会貢献レベル		
参考経年数	1から2年目	2から5年目	5から8年目	8から10年目	10年目以上		
到達目標	助言を得ることで臨床課題を見つけることができる	臨床課題を解決するための知識・技術を考えを実施することができる	疾患や社会資源などの知識や技術を後輩に指導することができる	知識や技術を多職種に対して、実践することができる。	知識・技術を市町村並びに他の関係団体に発信・助言することができる。		
学 習	自己研鑽	臨床	臨床疑問を持ち、自分の課題を述べるができる	臨床課題を解決するための学習を行うことができる	リハビリテーション課内で教育的指導を行うことができる	多職種に対して、作業療法の知識や技術を用いて助言することができる	作業療法の成果を外部に発信することができる
		論文作成	文献検索を行うことができる	文献から得た知識を治療に活かすことができる	エビデンスに基づいた作業療法実践を、文献をもとに治療に積極的に活用することができる。	文献検索を活用し、論文を執筆する	論文作成する後輩指導を行う
		学会参加と資格取得	興味ある研修会や学会に参加することができる	自主的に研修会や学会に参加できる	研修会や学会で得た知識を明日の臨床とリンクさせて活用できる。	研修会や学会で得た知識を活用し、組織の充実を図る	各種団体の認定資格取得を目指す。
		学会発表	所属内での事例検討会等で発表ができる	奈良県学会で発表できる	近畿学会で発表できる	全国学会で発表できる	多団体の学会で発表できる国際学会で発表ができる
研 修	生涯教育制度	研修制度	現職者共通研修を修了する	現職者実践研修を修了する	認定作業療法士を目指す	専門作業療法士を目指す。	
		臨床実習教育	臨床実習指導者に指導法を見学し学ぶ		臨床実習指導者講習会に参加する 臨床実習指導者として実習生を指導する	臨床実習指導者講習会等で講師を務め、後輩の実習指導者に対する指導を行う	
		MTDLP	MTDLP基礎研修を修了する	MTDLP事例検討会で発表する	MTDLP事例を協会にて発表する	MTDLP指導者を目指す	
		地域	所属施設の近隣の地域資源について学習する	奈良県作業療法士会の地域推進リーダー研修を受講する	地域ケア会議等を見学し、地域の推進リーダーになる	地域ケア会議等で助言することができる	地域ケア会議に参加する多職種に対して助言・指導・講師をすることができる